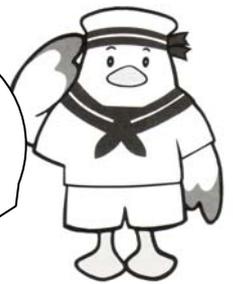


ゆうゆうマーシー通信

平成30年5月10日発行 春の行事案内

会員
152人



春のゆうゆうマーシー市

6月3日(日) 午前10時30分から午後1時までメモリアルパークにて行ないます。詳細は別紙をご覧ください。

配食サービス試食会

増毛町の配食サービスは、調理が困難な高齢者・障がい者世帯を対象に実施しており、調理・配達は、ゆうゆうマーシーがおこなっています。カロリー・塩分・たんぱく質などが表示されており、高血圧、糖尿病や腎臓病がある方にも安心して召し上がっていただけます。今回の試食会は、どなたでも参加できます。健康的なお弁当の味見をしてみませんか？

と き：5月24日(木) 午前11:30から

ところ：よってけ家(畠中町3丁目)

料 金：500円

(おかず4品+ごはん+みそ汁)

申 込：5月21日(月) 〆切

☎ 53-3111 内線518 石坂 まで



昨年6月9日のメニュー

身欠きニシンの煮物、キャベツの味噌炒め
タマネギのマリネ、カレー竹輪
(おまけ: ふきと竹の子の煮付)



昨年4月7日のメニュー

豚肉のゴボウ巻き シーフードのクリーム煮
ポテトサラダ 春キャベツの昆布佃煮和え



地域通貨で買い物楽しむ

増毛フリマに笑顔広げる

【増毛】ゆうゆうマーシィー（大西美直代表）主催のゆうゆうフリーマーケットが、4月28日午前10時から町健康一番館で開かれ、会員や地域住民ら約50人が地域通貨「マーシィー」を使って買い物を楽しんだほか、

総会報告

午後の総会には35名が参加。平成29年度は、手作り品のフリーマーケットの回数が増えて、ましけマルシェの行事や、社会福祉協議会のふれあい広場などに参加したこと、配食サービスの食数が減って、配達の人数を減らすなど努力したけれど赤字になってしまったこと、よって家が老朽化してきているため、どこか移転できる物件はないか探していることが報告されました。

平成30年度にむけては、配食サービスの試食会実施や対象者の見直し提言、別荘地区で防災訓練と同時にマーシィーのイベントを行うことなどの意見交換をしました。

ボランティア活動に励んだ。

ゆうゆうマーシィーは、潤いのある住民生活を目指す町民主体のボランティア実践組織。地域通貨の「マーシィー紙幣」を使用し、助け合い活動を展開している。

会場には、コーヒーやリンゴケーキを用意した喫茶コーナーが出店され、会員が町別荘地区で前日に採った初物のフキのほか、会員手作りのおはぎやよもぎ餅、会員が持ち寄った日用雑貨や古着などが並んだ。50円や200円の安価での販売とあって、来場者が販売開始前から列を作り、人気のリンゴケーキは開始10分ほどで用意した100個が売り切れるにぎわいぶり。また、昼食として会員が準備した豚汁やおにぎり、漬け物のセットが1食300円で提供され、来場者は「おいしい」と笑顔を広げた。

そのほかボランティア活動として、町が町内の高齢者の健康づくりや介護予防の施策に生かすため、北海道大学大学院保健科学研究院に協力する形で配布する「増毛町高齢者の食生活実態調査」のアンケート用紙を発送する作業に精を出した。
（雪田康一郎）

来場者が地域通貨を使って買い物を楽しんだゆうゆうマーシィーフリーマーケット